



180

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年10月15日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

巨大IT企業と闘う法律家

15日(日)=1、3面

迫る



グーグルやメタ（旧フェイスブック）など「ビッグテック」と呼ばれる米巨大IT企業に挑んでいる法律家があります。ウィーンを拠点とするプライバシー保護団体を率いているマックス・シュレムスさん＝写真＝です。

欧州には、厳格なプライバシー保護法があり、この法律を武器にシュレムスさんはビッグテックと闘っているのです。勝ち取った法的判断は幾つもありますが、なかでも個人データ保護が不十分として、米国と

欧州連合のデータ移転を巡る枠組みを無効とした2015年の欧州司法裁判所の裁定は「シュレムス判決」として広く知られています。

なぜ、シュレムスさんはビッグテックと闘い続けるのでしょうか。その始まりは法学生時代までさかのぼります。米シリコンバレーの大学に留学していた時、授業に招かれたフェイスブックの弁護士の発言に驚いたからでした。強い違和感を抱いたその一言とは？

シュレムスさんの活動に迫ります。



～「恐竜王国」福井県～

恐竜化石発掘の歩み

15日(日)=総合面



JR福井駅西口の動く恐竜のモニュメント

福井県で9月、新種の恐竜化石が発見されたとの発表がありました。福井県は日本で発掘された恐竜化石全体の実に約8割を占める「恐竜王国」です。学術面での貢献はもちろん、恐竜は地元の

重要な観光資源に育っています。福井県の恐竜化石発掘の歩みと、恐竜ブランドに磨きをかける取り組みについて、年表や写真を交えて分かりやすくお伝えします。

記者会見する岸田文雄首相（首相官邸で2023年9月13日午後7時半（代表撮影））



論点

岸田語の本質を読み解く

20日(金) オピニオン面

発足から2年が過ぎた岸田文雄政権は「新しい資本主義」や「異次元の少子化対策」などの政策を掲げてきました。しかし、岸田首相は「検討する」を連

発し、SNS（ネット交流サービス）などでは「検討使」と皮肉交じりに呼ばれたこともあり、発信力の不足を指摘する声が上がっています。ごまかし答弁を指

す新語「ご飯論法」を広めた法政大の上西充子教授、国語学者の金田一秀穂さんに、岸田首相の言葉に足りないものについて、聞きました。

特集 ワイド

風邪薬がない秋冬に？

17日(火)=夕刊2面

季節外れのインフルエンザや新型コロナウイルスが流行し、せき止めなどの風邪薬が調剤薬局＝写真＝で不足する事態が続

いています。コロナ禍で感染対策が徹底されたことで他の感染症が減り、せき止めなどの薬の生産量は減少。一方、5類移行

で対策は緩和され、インバンドも増えて接触機会が増えたことが原因とみられます。改善できるのか、取材しました。



10月、事業本部から着任しました。よろしくお願ひいたします。着任して2週間が過ぎましたが、新しい職場の業務に慣れるのに頭を使っているからか、食に走っているからか、10日で体重が5キも増え、ワイシャツはパツパツです（悲しい）。そんな慌ただしい出だしの私ですが、初仕事となった8年連続35回目の新聞協会受賞のポスターが完成しました。毎日新聞の各本支社や支局で掲示する予定です。ぜひご覧ください。（堀之内浩嗣）



編集後記